

施策評価シート

【施策の概要】

登録者(課長)名【1】		障害福祉課長 青柳 元久	
主管課(関係課)【2】		障害福祉課	
施策名【3】		分野【4】	
笑2-3 障害者の社会参加の拡大		いつまでも健康で元気に暮らすために	
まちはづくりの方向性【5】		笑顔で暮らすまちはづくり	
施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	
<p>個々の障害者がかけがえのない個人として尊重され、障害の有無にかかわらず相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する社会(=共生社会)の実現のためには、障害者の多様な形での社会参加と、障害や障害者に対する市民の理解が不可欠です。</p> <p>今後は、社会参加のために必要となる移動支援やコミュニケーション支援などの地域生活支援事業の充実や、障害者総合支援センター「フレンドリー」における地域交流や普及・啓発活動の推進が求められています。</p> <p>また、障害者就労支援センター「一歩」を拠点に、関係者が相互に連携するしくみによる障害者の雇用・就労の機会拡大に向けた取組が必要です。</p>		<p>◆障害者に対する理解の促進</p> <p>◆障害者の社会参加支援</p> <p>◆障害者就労支援の充実</p> <p>障害のある人が、地域の中でいきいきと生きがいをもって暮らせるまちをめざします。</p>	
留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
<p>◇障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)が平成28年4月1日施行されることから、これまで以上に障害者理解のための普及啓発を行う必要があります。</p> <p>◇平成25年4月に法定雇用率が引き上げられ、障害者の雇用環境は好転しているといわれています。</p> <p>◇精神障害者の雇用義務化などを柱とした障害者雇用促進法(障害者の雇用の促進等に関する法律)が改正され、平成30年4月に施行されることから、雇用率が上がることが見込まれています。</p>			
事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
1	障害者の多様な社会参加や雇用・就労への支援を推進します	障害者に対する理解の促進及び障害者就労支援の充実	

【施策の成果】

		年度		24	25	26	27	28	29
成果指標【12】	指標1	名称	「雇用促進など障害者の社会参加の拡大」に対する満足度						
		算出式・説明	障害のある人が自立して生活していくために、市が行っている「雇用促進など障害者の社会参加の拡大」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。						
		目標値	12%				単位	%	
	指標2	名称	就労援助事業への登録者数						
		算出式・説明	障害者が地域でいきいきと暮らしていくために、障害者の多様な社会参加を促す就労援助事業が行われています。この事業への登録者数を増やすことを目標とします。						
		目標値	214人				単位	人	
	指標3	名称	障害者(児)スポーツ事業への参加者数						
		算出式・説明	障害者(児)が地域でいきいきと暮らし、スポーツ活動を楽しむことができる障害者(児)スポーツ事業は重要です。この事業への参加者数を高めることを目標とします。						
		目標値	284				単位		
	指標4	名称							
		算出式・説明							
		目標値					単位		
達成率の平均値		74%	81%	83%	31%				

【市民意見】【13】

24年度		27年度	
満足度(%)	8.8%	満足度(%)	11%
満足度(平均ポイント)	-0.15	満足度(平均ポイント)	-0.07
重要度(%)	70.4%	重要度(%)	69.3%
重要度(平均ポイント)	1.02	重要度(平均ポイント)	1.03

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】 <input type="checkbox"/> まだ未達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る 意識調査での満足度【15】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
	施策の成果と課題(取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】	◇就労援助事業については、障害者就労支援センター「一歩」の登録者数は増加傾向にあり、一般就労の実績も増加しています。平成26年度には、市内初となる就労移行支援事業所が開設され、事業所と連携しての就労支援の成果をあげています。 ◇障害者(児)スポーツ事業では、参加者数は、年によって増減がありますが、平成26年12月から早稲田大学の学生ボランティアが参加していることによって、活気のある活動ができています。 ◇西東京市独自の取組である、専門的な知識がなくても、ちょっとした手助けをしてもらう障害者サポーター養成講座を継続して実施し、障害のある方を支援する環境が整ってきています。 ◇平成27年10月から、知的障害者を市役所の臨時職員に試行的に任用し、従事する業務内容・勤務条件等、知的障害者雇用環境の検討を行ないます。	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】 <input type="checkbox"/> 弱くなっている <input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている 意識調査での重要度【18】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
	今後の方針(具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】	◇就労援助事業では、就労者が今後も増加するよう委託事業である障害者就労支援センター「一歩」の事業を引き続き実施し、障害者の就労を促す取組みを推進していきます。 ◇障害者(児)スポーツ事業では、引き続き学生ボランティアの協力を得ながら、より多くの方に参加してもらえよう、広報に努めていきます。また、スポーツ振興課で実施しているスポーツイベントに障害者も参加できるよう、スポーツ振興課との連携も深めていきます。	
総合評価	施策内容の方向性【20】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】 V 成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域		

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み	
	施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化	
	判断理由等【24】 障害者の社会参加の拡大については、障害者就労支援センター「一歩」の登録者数及び、一般就労実績の増加に加えて、平成26年度には市内初の就労移行支援事業所が開設されるなど、事業所と連携した就労支援に取り組んできました。 西東京市独自の取組である障害者サポーター養成講座などを継続しつつ、今後も障害者への理解と協力を深めるための取組や、法定雇用率の引き上げ、障害者雇用促進法への対応として、就労支援ネットワーク会議などの取組を継続していくことが必要です。 市民意識調査結果では、前回調査と比べ重要度・満足度ともに大きな変化は見られませんが、障害者が増加傾向にある中で、障害者の社会参加の拡大は重要であることから、実施コストは現状を維持しつつ、施策内容の拡充に努めるべきと判断しました。	
施策実施方針【22】 II 成果の向上を図りつつ、コストは現状を維持する施策領域		

【施策内の事務事業貢献度判定】

笑2-3 障害者の社会参加の拡大

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】							
				事業費	人件費	事務事業の評価(直近)【29】	26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】	
1	障害者(児)スポーツ等支援事業の実施	障害福祉課	市内在住の障害者及び市内の障害者福祉施設等に通所する障害者に対し、指導員等の指導を通じた障害者のスポーツレクリエーション活動を支援しています。(毎月第3土曜日、年12回、スポーツセンターにおいて実施)	436	436	0	改善・見直し(平成21年度)	—	障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業として、障害者スポーツ指導員及び障害者スポーツ補助員の指導を通して、心身または精神に障害のある方がスポーツレクリエーション活動を行うことにより、地域でのスポーツレクリエーションの振興及び健康増進を図ることを目的としています。	A
	障害者(児)移送サービス事業の充実	障害福祉課	車いすのまま乗車できる自動車を運行し、外出が困難な方の日常生活の利便及び生活圏の拡大を図ります。	22,344	22,344	0	改善・見直し(平成18年度)	—	障害のある方の社会参加と社会活動圏の拡大を図るため、NPO法人に委託して移送サービスを実施しています。今後も、サービスの利用状況・利用意向等を把握しながら、より利用しやすいサービスが提供されるよう、事業者に働きかけていきます。	A
事業の合計				22,780	22,780	0				

総コスト(千円) : 評価年度【28】			事務事業の評価(直近)【29】	26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】
事業費	人件費					
436	436	0	改善・見直し(平成21年度)	—	障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業として、障害者スポーツ指導員及び障害者スポーツ補助員の指導を通して、心身または精神に障害のある方がスポーツレクリエーション活動を行うことにより、地域でのスポーツレクリエーションの振興及び健康増進を図ることを目的としています。	A
22,344	22,344	0	改善・見直し(平成18年度)	—	障害のある方の社会参加と社会活動圏の拡大を図るため、NPO法人に委託して移送サービスを実施しています。今後も、サービスの利用状況・利用意向等を把握しながら、より利用しやすいサービスが提供されるよう、事業者に働きかけていきます。	A
22,780	22,780	0				